

天敵、アシナガバチの怪

異常高気温続く

FAO 共同事業、次の段階に向けて協議

事務局のみなさん、後藤・村上先生、

日本はもう秋たけなわの頃かと想像しています。

ジャララバードはなかなか暑さが去らず、皆、閉口していましたが、先週短い夕立があつて、急に冷えてきました。

頻回に送ると進み具合が却って分かりにくいので、今週は工事の報告はありません。特記すべきは養蜂関係です。

以前の報告で、「日本のスズメバチに相当する、ミツバチの天敵は居ない」と述べましたが、お詫びして訂正いたします。思わぬ天敵がいました。

先にビエラの林でアシナガバチがやたらに多く、ミツバチをほとんど見かけませんでした。今週、再び行ってみると、ミツバチの箱に例のアシナガバチが寄ってくるのです。養蜂係が一所懸命アシナガバチを追い払っています。尋くと、巣箱に侵入してミツバチの幼虫を食べるのだそうです。日本のアシナガバチはこんなことをせず、決して天敵ではありません。

まさかとは思いましたが、観察すると確かに巣箱の穴を伺い、防ごうとするミツバチを噛み殺したりしています。スズメバチの間違いではないかと目を疑いましたが、形は紛れもなくアシナガバチ属（*polistes*）です。養蜂係は種の名を知りませんでした。私に説明した生活史は正確で、間違いなくアシナガバチのそれでした。即ち、切った蓮根を逆さにしたような巣、単独越冬した女王が5月ごろから巣作り、10月には新女王を残して一族が死滅、など、ほとんど日本のものと同じです。

今年は、暑さのせいかアシナガバチが大繁殖、活動が止まないとの事でした。

ミツバチたちは恐れて巣から出ず、せつかくのビエラのごちそうは凶暴な敵に占拠されています。吸蜜するミツバチも襲われるそうです。

「今年はビエラの蜜はダメなのか」と問えば、「雨が降って気温が下がると、悪い蜂は死ぬから大丈夫」とのこと。

アシナガバチが悪い蜂とは思わないけれど、気になって気温が下がった昨日行ってみると、確かにその通りでした。死んだのか、数が少なくなっています。ミツバチの活動は11月までで、天敵が居ないわずかな時間差を利用して集団越冬の準備をします。その冬越し用の蜜を我々がピンハネすることを思うと、死滅するアシナガバチに何やらあわれを感じるのです。

次回、ビエラの花と実にたかるミツバチの姿をお届けします。

先週はFAOのカブール事務所に行き、来年度の計画が話されました。

この一年、訓練計画は大きな成果と言ってよく、多くの灌漑関係の技術者、農民指導者が励まされています。特に、全国的に農地の乾燥化が進む中、灌漑の重要性だけでなく、工夫次第で切り抜ける道があることを知って、皆希望を持って帰るのです。このことが何よりも代えがたい成果でした。FAOとも契約がこれで終わっても、いきなり大規模な事業に飛びつくより、この実地研修を継続持つてすることが大切と感じています。

イリアスヘール計画については、時期尚早です。十分な水理学的調査が欠かせず、①来春までに取水予定部のカブール河の水量変化を記録、②取水部の位置を再検討すると共に、③用水路ルート上で主な洪水通過路の確認と対策、以上を示

したうえでなければ候補地として薦められないことを伝えています。諸般の事情で PMS が自ら調査し、4 月までに結論を出し、FAO 側にも伝えます。これには私たち PMS やペシャワール会の将来も関わるので、慎重に運びたいと考えています。

マルワリード改修は、事務所の機転で「住民の要望」→「知事命令」という形をとり、計画書が提出されました。これは小生が現場で指示が出せること、公的事业として地方行政も責任を担うことを配慮したものです。11 月から堰の工事

が本格化します。

マルワリード堰改修は、連続堰ができた 2014 年に計画されていましたが、その後治安の悪化で寄りつけず、やっと今回、職員一同の悲願達成となります。16 年後の改修は、その間のできごとを思うと感無量、気合を入れて臨みたいと考えています。次回詳しくお伝えします。

2019 年 10 月 4 日 記

ドラエヌールからガンベリ農場に巣箱が移されたが、アシナガバチに閉口、スリッパを「ハチタタキ」にして巣箱を守る養蜂係。雨が降って涼しくなれば・・・と話した翌日に降雨があり、アシナガバチは激減した。2019年10月1日



シギ排水路工事は工事先端が終点（1.9 km地点）に達している。末端約 100mは暗渠で、基礎をしっかり固める。2019年10月1日



シギ排水路、約 1700m地点。後は植樹を待つばかりだ。2019年 10月 1日



ラグマン州からの受講生。二週間の研修を終えて卒業。大学の灌漑科からの学生が多く、活気のあるクラスだった。ラグマン州で PMS 方式の拡大を呼びかける学生グループも現れ、それだけでも訓練計画の甲斐があったとの声あり。2019年10月2日



本日、マルワリード堰改修の準備工事が始まりました！ 構造物（補助水門と土砂吐）の位置と大きさを決めるため、取水口付近の整地と樹木の伐採が行われました。2019年10月5日



一昨日の降雨で濁流となったクナール河。見かけは粗いですが、マルワリード堰は見れば見るほど安定していて、取水量の問題さえなければ手を加える必要がないとさえ思われます。しかし、先を考えると万全の備えにこしたことはありません。今冬ははりついて頑張ります。2019年10月5日

